

回										
覧										

丘珠空港ニュース

第3号（平成16年2月24日）
 お問合せは…
 札幌市企画調整局企画部企画課
 （土地利用・空港調整担当）
 電話：211-2192

さる2月9日に「第10回丘珠空港連絡会議」を開催し、平成16年度における丘珠空港の定期便の運航計画などについて説明しましたので、その概要をお知らせします。

○ 定期便の16年度夏季の運航計画

【定期便の運航便数について】

丘珠空港ニュース第1号でもお知らせしたとおり、定期便の運航については、空港周辺地域の生活環境を保全を図る観点から、航空機騒音の環境基準を超えない範囲としており、「1日当たり22往復44便」の枠内で運航することとしています。

丘珠空港の定期便は、15年8月からこの枠の中で、エアーニッポンネットワーク㈱（以下A-net）が13往復、㈱北海道エアシステム（以下HAC）が3往復の計16往復（12月～3月の冬季は、空港の除雪の都合により両社1往復減の計14往復）で運航されています。

15年4～12月の利用実績は、昨年同期と比較して、利用者は約2万8千人、搭乗率は3.8ポイント増加しています。

【定期便の16年度夏季の運航計画について】

この度、両航空会社から札幌市に対して、15年度の利用実績なども踏まえて、16年度夏季の運航計画が示されました。A-netが1往復増の14往復、HACが2往復増の5往復、合わせて3往復増の19往復の運航計画となっています。これは、騒音面から支障がない「1日当たり22往復44便」の枠内で運航されるものです。

増便の運航については、A-netが4月1日から、HACが4月29日からを予定しています。

なお、HACでは、4月1日から4月28日までの

間、機材の定期点検のため、函館便1往復を運休する予定ですので、この間は、A-net14往復、HAC2往復、合わせて16往復の運航になります。

16年度運航計画(夏季・4月29日～11月)

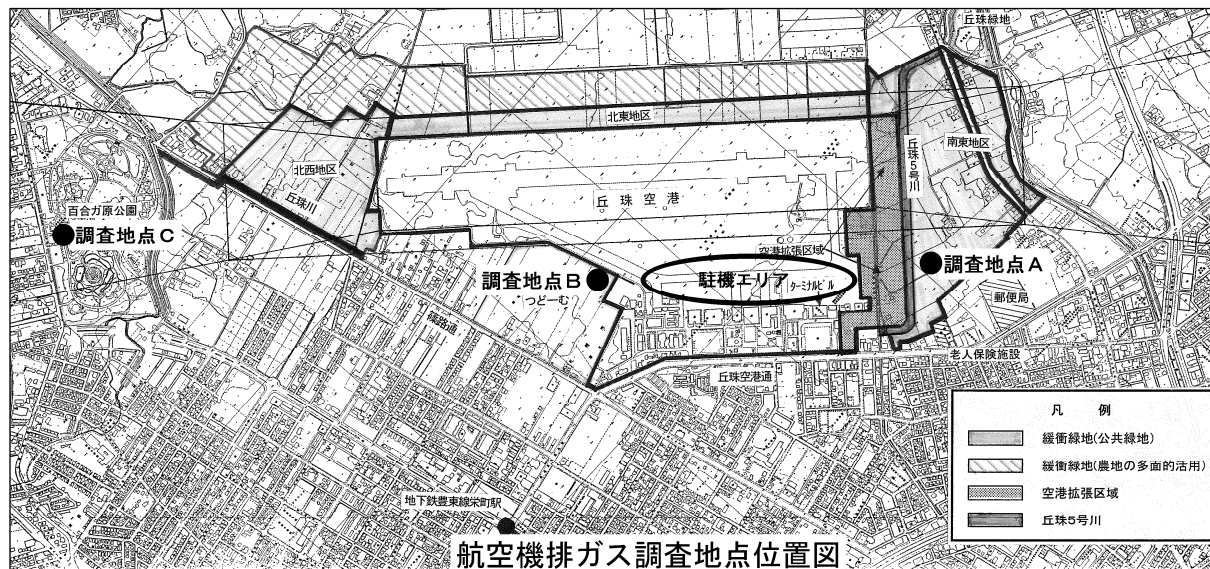
()内は15年度(15.10)との対比

航空会社	A-net	HAC	計	
使用機材	DHC8-300 (56席)	SAAB340 (36席)		
運 航 便 数 (往 復)	稚内	1 (-1)	—	1 (-1)
	釧路	3	3 (+2)	6 (+2)
	函館	5	2	7
	中標津	3 (+1)	—	3 (+1)
	紋別	—	—	—
	女満別	2 (+1)	—	2 (+1)
計	14 (+1)	5 (+2)	19 (+3)	

※4月1～28日：A-net=14往復、
 HAC=2往復、計16往復
 4月29日～：A-net=14往復、
 HAC=5往復、計19往復

○ 航空機排出ガス調査の中間報告

丘珠空港の航空機排出ガスによる周辺地域の生活環境に与える影響を調査するため、昨年11月18～25日の7日間、図に示す空港付近の3地点（空港緑地予定地、つどーむ、百合が原公園内各1地点）において、二酸化窒素、ベンゼン及び浮遊粒子状物質の3項目を測定しました。



その結果、調査項目3項目は、いずれも環境基準値以下となっています。

(測定値は1週間平均値)

調査地点	二酸化窒素 (ppm)	ベンゼン (mg/m ³)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)
A	0.022	0.0016	0.013
B	0.021	0.0014	0.017
C	0.017	0.0012	0.012
環境基準	0.04 (日平均)	0.003 (年平均)	0.10 (日平均)

○ 丘珠空港整備事業について

平成12年度から進められてきた100mの滑走路延長に関連する一連の工事は、今年度内に完了します。

15年3月中旬頃に、延長滑走路の供用が開始される予定です。

丘珠空港連絡会議については、札幌市のホームページにも掲載しています。

URLは、<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/okadama/> です。



さっぽろ市
05-C03-03-888
15-5-150